

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |              |            |  |
|---------|--------------|------------|--|
| 事業所番号   | 3390100133   |            |  |
| 法人名     | 有限会社 あかり企画   |            |  |
| 事業所名    | グループホームあかり   |            |  |
| 所在地     | 岡山県岡山市北区富田14 |            |  |
| 自己評価作成日 | 令和5年11月19日   | 評価結果市町村受理日 |  |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |  |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 |  |
|----------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                    |  |  |
|-------|--------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利法人 津高生活支援センター |  |  |
| 所在地   | 岡山市北区松尾209-1       |  |  |
| 訪問調査日 | 令和 5年 12 月 20 日    |  |  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

あかりでは、入居者の方々に段々と衰えてくる筋力や体力の維持向上ができるよう毎日支援を行い、出来る限り自分の力で歩け、食事を摂ることができるよう努めている。またコロナ禍で外出制限のある入居者にとって、なるべく笑顔で過ごすことができるよう毎日努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

入居者の平均年齢(90.4歳)と高いにも関わらず自立した入居者が多く(要介護度3、4)、日中、身体能力の維持と五感の刺激に外出支援にも努めています。医療連携も地元の医師と夜間往診、看取りなど連携が取れており、入居者家族の安心に繋がっています。施設運営者が自宅のあった住宅地にグループホームを作り馴染みの運営が行われています。また、地域密着型サービスの実践に向け、運営推進会議の充実を図っています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)             | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                   | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)     | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                  | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)         | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |    |   |                       |   |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |   |
|--------------------|-----|---|--|--|---|
|                    |     |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |  |  |   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 明るい毎日、まあい笑顔を理念とし全職員に徹底できるよう努力している。   | 地域密着型サービスの意義をふまえ、新人研修の折りに職員も含め、大家族のように入居者を軸に支え合う生活ができるよう支援し理念の実践に努めています。                             |   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | オーナーが地元の住民であるため、地域とは良い関係である。野菜や花をいただいたりとあかり開設以来良い交流を続けている。                 | オーナーが地元の消防団長を勤め、地域の行事にも積極的に参加し、地域の一員として交流している様子が窺えます。  |   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | ボランティアや近所の方にはいつも認知症の話をしており、認知症に関する相談も受けている。                                |  |   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 運営推進会議では2カ月に一回あかりの状況報告を行い参加者から意見を頂戴したものに關してはサービス向上に努めている。                  | 地域包括・愛育委員・町内会長などの参加で定期的に開催し、事業所の取り組み状況などを説明し、参加者の理解と支援を得られるよう努めています。                                 | 今まで構築された地域とのつながりを大切にしながら、これからも官民一体の相互意見交換の場としての取り組みを大切に、サービス向上に活かされることを期待します。 |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる                  | 普段から制度についてや施設運営についてわからないことがあれば事業者指導課に確認している。又、地域包括の職員にも運営推進会議にて連携を取り合っている。 | 市町村担当者と日頃から協力関係を築くよう取り組んでいます。  |   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 全ての職員が身体拘束を行わない方針を理解し徹底しているが、やむを得ずベッドの柵づめを1人が行っている。                        | ベッドの柵づめは介護保険指定基準に基づく、身体拘束三原則に則り、職員で検討、確認、記録し支援に取り組んでいます(それ以外、睡眠中の布団のズレやベッドに慣れない入居者もありズレ止めに柵を使用している)。 |   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 高齢者虐待防止の委員会や勉強会を行っていたが最近では職員の入替わりもあり中々行えていない。                              |  |   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|-----|--|---|--|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | これからの課題と思っている。努力していきたい。   |  |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 十分な説明を行っている。  |  |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 意見箱を設けているが意見の投稿はない。ご家族来所持に声掛けにて何かあれば言っていたくよう伝えている。                                    | コロナ禍以来、家族とはLINEで繋がり日々の様子を家族に伝えたりしています。また利用料は振り込みにせず持参してもらうことで、来所時のコミュニケーションを大切にし、入居者家族の意見・要望を聞く機会とし、反映に努めています。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 毎日の申し送り、申し送りノートにて意見交換を行っている。月1回職員会を行っていたが職員の入れ替わり等もあり現在は行えていない。                       | 管理者と日々気軽に意見や提案ができるようにコミュニケーションを大切にしています。各家庭の事情等もありパート職員の出入りはありますが、より良い職場環境への取り組みに努めています。                       |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 職員の生活に添った勤務体制を取り入れ働きやすい職場にしたいと努めている。  |  |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 職員の経験や力量によって指導時間を変えしっかり業務を行えるようにしている。又、外部研修に順番に参加してもらうよう申し込みしたが職員の入れ替わりにより中々参加できていない。 |  |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 以前はいくつかの他施設と交流を持っていたが現在は感染症予防の為交流を持っていない。   |  |                   |

| 自己                          | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|-----------------------------|-----|--|---|--|-------------------|
|                             |     |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |  |                   |
| 15                          |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居された後1日でも早くあかりに慣れていただけるよう全職員で心して接している。                       |  |                   |
| 16                          |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入所前、入所後ともに入居者家族とはよく話し合いを行い入居者がよりよい生活を送れるよう努めている。              |  |                   |
| 17                          |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 入居前の面接に力を入れ入居後のプランに生かしている。                                    |  |                   |
| 18                          |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | ホーム全体を1つの家族として考えている。出来る事はお互い助け合って毎日を過ごしている。                   |  |                   |
| 19                          |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 入所後も家族と入居者の関係が薄れないよう気を付けている。月に一回は利用料を持ってきていただいているので協力も得られている。 |  |                   |
| 20                          | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている                      | 電話、テレビ電話、手紙の交換、面会にて家族と家族以外の人にも入居者に寄り添ってもらっている。                | 入居者一人ひとりの繋がりへの把握に努め、お友達への年賀状支援や家族の外出支援をして馴染みの人や場所との関係が途切れないう支援しています。 |                   |
| 21                          |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 食事や団らん時において入居者同士が楽しくできるよう席の配置や職員の声掛けを行っている。                   |  |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 退所後もできるだけ関係を続けていたが、最近では特養、病院ともに面会には行けていない。                                      |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |   |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 出来るだけ入居者本位の生活が送れるよう努めている。認知症についても勉強をしている。                                       | 一人ひとりの思いは、レクリエーションなどのリラックスしているときや普段から入居者の横に座って話す時間を作って、思いや意向の把握に努めています。 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 生活歴について入所前に聞けなかったこと等は本人に聞いたり家族面会時に話を聞き把握に努めている。                                 |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 血圧、体温、脈拍は入浴日に計測し、表情や身体の動きを常に観察して異常のサインを見逃さないよう努めている。                            |   |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 入居者が自宅で生活しているのと同じような生活が送れるのと同時に、生活の中で身体機能が衰えないような支援ができるよう、職員間で相談しながらプランを作成している。 | 個々の身体能力に合わせ、医療情報や日々の支援の記録を参考・反映させながら現状に即した介護計画作成に取り組んでいます。              |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 職員間の連絡を密にし、必要なことはノートに残し再度確認できるようにしている。  |   |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる             | 家族の入院、用事等で病院に受診できない時は職員が付き添い受診している。   |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |   |
|----|------|---|---|---|---|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 以前は様々なボランティアに來所してもらっていたが感染症予防の為最近は行えていない。又、入居者さんも外出出来ていないため地域資源とは関わっていない。 |   |   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | 各人のかかりつけ医に受診し、医療機関とも連絡を取り合っている。   | かかりつけ医の受診が継続出来るよう、家族の協力のもと情報連携をしながら適切な医療を受けられる支援に取り組んでいます。                          |   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | かかりつけ医や薬剤師に連絡し相談をしている。  |   |   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 受診や入院時には医療機関への情報提供を行っており、医師や看護師、連携室の方と連絡も密に行っている。                         |   |   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 入所前や変化があった際にはその都度家族に説明や相談を行っている。  | 重度化した場合や終末期のあり方について早めに説明し、事業所で出来る事を説明し、入居者・家族が不安にならないよう、職員、医療関係者と共にチームで支援に取り組んでいます。 |   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 入職時に対応出来るよう指導していると同時に研修に参加してもらい、内部研修に生かしている、                              |   |   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 定期的に職員と入居者で避難訓練を行っている。地域の消防団に参加してもらい指導してもらったこともある。                        | 火災を想定した避難訓練には、地元の消防団も参加し、地域との協力体制を築くよう取り組んでいます。                                     | 今まで通り地域住民と協力体制を強化し、2024年3月に義務化されるBCP(自然災害、大火災などの緊急事態に遭遇した場合)に取り組み、準備していかれることを期待します。 |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |  |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 入居者の方を傷つけない言葉かけ等いつも話し合っている。   | 入居者の生活歴に応じた、対応を心掛けている。親しみとプライバシーに職員同士注意しながら人格を損ねないよう対応に努めています。                             |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | レクリエーション時や個別の会話時には希望や思いを引き出せるよう努めている。                                 |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ある程度決まっていることもあるが出来る限り入居者それぞれの生活ペースに合わせた支援をしている。                       |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 洋服を選んでもらったり服を直したり清潔な衣服を着てもらえるよう気を付けている。散髪ボランティアに来てもらいおしゃれを楽しんでもらっている。 |  |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 職員と一緒に食材の下ごしらえをしたり片づけを行っている。  | 以前は、食事の下ごしらえを手伝っていた入居者も介護度があがり難しくなっている中、海苔巻きと一緒に作るイベントをしたり、誕生会には好きな食べ物で祝うなど食事を楽しむ工夫をしています。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 各人に合わせ量や食べやすい工夫をしている。   |  |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 声掛けにて自歯、入れ歯の方どちらも口腔ケアの支援をしている。又、訪問歯科も取り入れている。                         |  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|---|--|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 各人の排泄パターンを知り声掛けにて介助を行っている。                           | 一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして自立へ向けた支援に努め介護用品も使用しながら個々への対応が窺えます。  |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 水分摂取や食事の工夫、運動など予防に取り組んでいる。                           |   |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                             | 入浴の曜日や時間は決めているが、ゆず湯や入浴剤を使用しながら出来る限り楽しんで入浴できるよう努めている。 | 入浴の曜日や時間は決めているが体調に合わせ、臨機応変に一人ひとりの希望やタイミングに合わせた入浴に取り組んでいます。  |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 気持ちのいい寝具やご本人の体調や希望に沿った工夫をしている。                       |   |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 薬の目的、副作用は理解しており変化があればかかりつけ医に伝えられる。                   |   |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 日中の過ごし方は各入居者がそれぞれ楽しめるよう毎日工夫をしている。                    |   |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 戸外への希望はあまりなくコロナ禍以降ではドライブくらいしか行えていない。                 | 住宅内に立地しているとはいえ、幹線道路が近くにあるので、日常的に近隣を散歩するのも難しい環境です。天気が良く、風のない時は、外のテラスでお茶や食事をしたりして外気浴をして気分転換に努めています。 |                   |



| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|--|--|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 何人かはお金を持っておられ、買い物時はそこから支払いをされることもあったが最近ではコロナ禍により外出自体ができておらず買い物に行けていない。 |  |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 普段から電話やテレビ電話を行っている。プレゼントを貰うとその相手に電話や手紙が出せるよう支援している。                    |  |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 皆さんが集まるリビングには季節の飾りや花がいつもあり、居心地をよくするよう努めている。                            | 家庭的な環境を大切にしており、日中を過ごすリビングは食欲をそそる匂いや季節の花など飾り、又、移動に混乱がないよう共用空間作りに努めています。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 一階、二階とも日当たりのいい場所にソファが設置してあり、よく会話されている。                                 |  |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 出来る限り自宅で使ってもらっていたものを持ってきてもらうようにしている。                                   | 一人ひとり入居者の個性に合わせた装飾で、安全面に配慮した居心地のよい居室が窺えます。                             |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 出来ないことは職員とともにいたりしているが、出来る限り入居者に自立した生活が送れるように工夫している。                    |  |                   |